



**消雪パイプ管理の  
不平等を解消すべきでは**  
滝沢 一成（輝）



**問** 市道の消雪パイプの2割で沿線住民等が修繕や管理に係る経費を負担している。他と平等に無料とすべきではないか。

**答** 現在、他自治体の事例調査を行っている。また、地元町内会等に維持管理の実態や今後の意向等をお聞きし、在り方等の整理を進める。

**問** 昨冬の大雪を通して豪雪都市上越の在り方について語り継ぐべきことは何か。

**答** 高齢者世帯や通学する子どもの見守りなど、市民の中に自然と生まれた「共助」の姿が見られた。市民の生命、身体、財産を守ることは行政の責務であるが、「自助」「共助」を更に広げ、雪と共に暮らす『我がまち上越』の力強い市民の力を次世代へと引き継いでいただけるだろう。

**学力向上で子どもたちの未来を広げるために**

**問** 令和3年度標準学力検査の結果、全国との偏差値比較で、中学3年生は全て下回っているが、この結果をどう考えるか。

**答** 個に応じた指導が定着せず、一斉画一的に教え込む授業が多くなっているのが現状である。指導主事が教員の指導力向上を図り、カリキュラム・マネジメントの視点での授業改善に取り組んでいる。児童生徒は学力が付くことで、分かる喜び、学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたって学び続ける力が育まれると考える。



**上越市発展は  
5大ミスの脱却から！**  
宮越 馨（無所属）



**問** 上越市の発展過程で、①14市町村の大合併、②北陸新幹線のJ R東と西との境界駅の機能放棄、③上越共同火力発電所の本社機能の喪失、④全国一の地球環境都市からの脱却、⑤「のびやかJプラン」の否定が大きなミスであり、それらからの脱却が必要と考えるがどうか。

**答** 第6次総合計画の着実な取組をもって、上越市の発展に努めていきたい。

**ふるさと納税には返礼品を活用すべき**

**問** ふるさと納税について返礼品を活用しない方針を頑なに堅持する、その真意は何か。

**答** 地方自治体が金額の多寡を競い、寄附の獲得額と税の流出額の損益を論じるべきでないと考えており、当市におけるこの制度の運用に当たっては、制度本来の趣旨を大切にしている。

**子供年金制度導入に向けたニーズ調査を**

**問** 市は、人口政策として「子供年金」制度の導入に向けた「第3子以降のニーズ調査」の実施を頑なに否定するが、人口減少対策は可能性が少しでもあるならば挑戦すべきではないか。

**答** 市の財政運営に多大な支障が生じることや人口減少への抑止効果に結び付く確証も得られないことから、子供年金制度を導入する考えはなく、ニーズ調査を実施する考えもない。

**令和3年12月定例会の予定**

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29	11/30	12/ 1	2	3	4
		本会議 総括質疑等	文教経済 常任委員会	厚生 常任委員会	農政建設 常任委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	総務 常任委員会	本会議 一般質問				
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 採決等				

※この日程は、諸会議等により変更となる場合があります。正式には11月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。